

解 答

| | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 (B) | 2 (B) | 3 (B) | 4 (A) | 5 (C) | 6 (A) |
| 7 (A) | 8 (D) | 9 (A) | 10 (C) | 11 (A) | 12 (A) |
| 13 (A) | 14 (D) | 15 (D) | 16 (C) | 17 (A) | 18 (B) |
| 19 (A) | 20 (B) | | | | |

1. 「この小学校では1904年からずっと英語を教えている」
 ▶ 選択肢には他動詞teachの態・時制の異なるものが並んでいる。空欄のあとにはteachの目的語がないので, Englishを主語にした受動態になっていると考える。また, since 1904「1904年から」なので主節の時制は現在完了形になるので(B)has been taughtが正解である。
2. 「カレンが土曜日にあんなに忙しくなったら、私たちとパーティーに出られたはずなのに」
 ▶ if節の動詞が過去完了なので、帰結節は〈過去形助動詞(would/could/might)+have done〉になると推測できる。よって、選択肢の中で唯一の過去形助動詞である(B)wouldが正解である。
 must have done 「～したに違いない/～だったに違いない」
He must have told me a lie.
 (彼は私にうそを言ったに違いない)
3. 「ブランドはパソコンを自分で修理する代わりに、店で修理してもらった」
 ▶ 空欄に入る動詞は、(()+目的語+過去分詞)の語法をもつと考えられる。選択肢の中でこの語法をもつのは(A)made, (B)gotであるが、〈make+目的語+過去分詞〉は過去分詞が形容詞化している場合を除くと, make oneself understood(自分の声を聞かせる)など、慣用的な表現に限られるので、正解は(B)gotである。
 have[get] A done 「Aを～してもらう[使役]/Aを～される[被害]/Aを～し終える[完了]」
I had my hair cut at a famous beauty salon. [使役]
 (私は有名な美容室で髪を切ってもらった)
I got my fingers caught in the train doors. [被害]
 (私は電車のドアに指をはさまれた)
We're supposed to have our new project finished by Monday. [完了]
 (月曜日までに新しい計画をやり遂げてしまうことになっている)
4. 「新しい議長を選挙で選ぶかどうかに関して投票を行うことをビルは提案した」
 ▶ 空欄前の他動詞proposeは「提案する」という意味では動名詞を目的語にとるので、選択肢は(A), (C)にしばられる。having doneで表される完了形の動名詞は述語動詞よりも前の時を表すので、文意より(C)having takenは不適である。よって、(A)takingが正解である。

「SVO to do」の形をとらない動詞

「SVO to do」の形をとれそうでとれない以下の動詞に要注意。

特に suggestとhopeの2つが頻出。

- | | | |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> suggest[propose] 「提案する」 | <input type="checkbox"/> hope 「希望する」 | |
| <input type="checkbox"/> admit 「認める」 | <input type="checkbox"/> excuse 「許す」 | <input type="checkbox"/> inform 「知らせる」 |
| <input type="checkbox"/> forgive 「許す」 | <input type="checkbox"/> say 「言う」 | <input type="checkbox"/> explain 「説明する」 |
| <input type="checkbox"/> prohibit 「禁じる」 | <input type="checkbox"/> demand[require] 「要求する」 | |

5. 「新しいショッピングセンターの建設を地元住民の少数は支持したが、残りの大多数は反対した」
 ▶ a few local residents ⇔ most of the othersという関係(others=other local residents)。mostの後に続けられる形は、most of the othersまたはmost othersなので、正解は(C)of the othersである。

6. 「タカシが金曜日までに返すと約束してくれれば、私の本を借りてもいい」
- ▶ 空欄に入る語は節をつないでいるので、接続詞であると推測できる。選択肢の中で接続詞は(A)if, (C)unless, (D)exceptの3つである。金曜日までに返すと約束することを条件に本を借りられるのだから、条件を表す副詞節を導く(A)if「もし～ならば」が正解である。
- [例] You can come and see me anytime **if** you are free tomorrow.
(もし明日暇なら、いつでも私に会いに来てもいいよ)
- ▶ (B)even「～(で)さえ」, (C)unless「～でない限り」, (D)except (that)節「～ということを除いて」。
7. 「帰り道にスーパーに寄って牛乳を買ってきてくれませんか？」
- ▶ 選択肢には動詞stopが変化した形が並んでいる。空欄前の他動詞mindは動名詞doingを目的語にとるので(A)stoppingが正解である。
- Do [would] you mind doing?** 「～していただけませんか」 [依頼]
- ▶ 『許可』を求めるDo[would] you mind my[me] doing?と混同しないように。
Would you mind keeping an eye on my luggage while I make a phone call?
(電話をかけている間、私の手荷物を見張っていてくれませんか)
- stop by A** 「Aに立ち寄る」
- They stopped by the convenience store to pick up some ice cream.
(彼らはコンビニに立ち寄ってアイスクリームを買った)
- | 動名詞だけを目的語にとる動詞 | | | |
|--|-------------|--|--------------|
| <input type="checkbox"/> mind | 「～するのを気にする」 | <input type="checkbox"/> miss | 「～しそこなう」 |
| <input type="checkbox"/> enjoy | 「～するのを楽しむ」 | <input type="checkbox"/> give up | 「～するのをやめる」 |
| <input type="checkbox"/> admit | 「～するのを認める」 | <input type="checkbox"/> finish | 「～するのを終える」 |
| <input type="checkbox"/> escape | 「～するのを逃れる」 | <input type="checkbox"/> postpone | 「～するのを延期する」 |
| <input type="checkbox"/> stop | 「～するのをやめる」 | <input type="checkbox"/> deny | 「～しないと言う」 |
| <input type="checkbox"/> evade | 「～するのを避ける」 | <input type="checkbox"/> consider | 「～することを考える」 |
| <input type="checkbox"/> avoid | 「～するのを避ける」 | <input type="checkbox"/> imagine | 「～することを想像する」 |
8. 「私の家はパン屋の真向かいなので、毎日焼きたてのパンの匂いがかけます」
- ▶ 選択肢は「～の近く」という意味を表す形容詞・前置詞であるが、空欄後のacrossと結びつく語法をもつものは(D)acrossのみである。across from Aで「A(人・場所など)の向こう側に」という意味である。
- [例] They were sitting **across from** each other at a small table.
(彼らは小さなテーブルにお互い向き合って座っていた)
- close to A** 「Aに近い」
- near (to) A** 「Aの近くに」
- ▶ near Aという前置詞の用法は副詞用法near to Aのtoが落ちたものである。
- next to A** 「(場所・位置が)Aの隣に」
9. 「ピーターは試験勉強を大してていなかったが、クラスで最高点を取った」
- ▶ 選択肢は前置詞(despite)・接続詞(although/that)・副詞(however)が並んでいるので空欄後の文の要素に注目する。()は後に続くPeter didn't study...を後続する節につないでいるので接続詞が入ると考えられる。選択肢の中で接続詞は(A)although, (D)thatであるが、接続詞thatは名詞節を導くので不適である。
(A)although「～にもかかわらず」が文意にも沿うので正解である。
(B)despite「[前]～にもかかわらず」, (C)however「[副]しかしながら」。
10. 「赤十字は前年まで以上の募金を今年は受け取ることを期待している」
- ▶ 選択肢は数量を表す形容詞many, muchの原級・比較級・最上級が並んでいる。空欄に続いた部分には,()donations this year than in previous yearsとあるので, thanと呼応する(C)moreが正解である。
11. 「ヤング教授は本の中に隠されていた古い文書を見つけてとても喜んだ」

- ▶ 選択肢には動詞comeを含む群動詞が並んでいる。空欄後のan old document「古い文書」という目的語に自然につながるのは(A)came across「～に(偶然)出くわした」である。
- come across A** 「A(人・物)に(偶然)出くわす」 (= run into [across] A)
- I came across him at the airport.
(私は空港で彼に偶然出会った)
- come through** 「通り抜ける」
- come into A** 「(考えなどが)Aの心に浮かぶ/(人・事・物が)A(状態)になる」
- come up** 「やって来る/出世する」 cf. **come up with** ~「～を思いつく」
12. 「タツヤはクラシック音楽がとても好きで、特にベートーベンの交響曲を愛好している」
- ▶ 選択肢はすべて語尾が-lyの形の副詞であるから、文脈から適切なものを判断する。第1文でタツヤはクラシック音楽を好むと書いてあり、第2文でその中でもベートーベンを好むと書いてあるので、(A)particularly「特に、とりわけ」(= in particular/especially/above all)が最適である。
- 残りの選択肢の意味は、(B)extremely「極度に、極端に」、(C)enormously「非常に」、(D)exceptionally「例外的に」。
13. 「試験がもうすぐ始まりますから、本やノートは片付けてください」
- ▶ 選択肢はすべてputを含む群動詞である。第1文では『試験が始まる』と述べておらず、空欄に入る動詞の目的語が『教科書とノート』であるから(A)put away「～を片付ける」が正解である。
- (C)put off ~「～を延期する」、(D)put in ~「(機械)を取り付ける/(書類など)を提出する/(時間・金)を投入する」
- put away** ~「～を片付ける」 (= clear/tidy)
- Put everything away neatly.
(すべてのものをきちんと片付けなさい。)
- ▶ 目的語が代名詞everythingなので、put everything awayの語順。
- be about to do** 「まさに[今にも]～しようとしている」
- The soccer game is about to start.
(サッカーの試合が始まろうとしている。)
14. 「アヤの両親は平日は彼女が午後8時以降に外出するのを許可していない」
- ▶ 選択肢には許可や同意・承諾などに関する意味の近い動詞が並んでいるので、語法問題の可能性を考える。()のあとに注目すると、空欄にはSVO to doという語法をもつ動詞が入ると推測できる。
- 選択肢の中でこの語法をもつのは、(C)acceptと(D)permitであるが、accept A to doは「A(人)を～する者として受け入れる」という意味なので文意に合わない。よって(D)permit「～を許可する」が正解である。
- permit[allow] A to do** 「Aが～するのを許す」 (= let A do)
- The doorman did not permit me to enter the theater.
(ドア係は私を劇場に入ってくれなかつた。)
- agree to do** 「～することに同意する」
- make A do** 「(強制的に)Aに～させる」
15. 「グレッグの父親はトヨタのトラックを愛している。いつでも頼れるからだ」
- ▶ 選択肢には『自動詞+on[in]』の群動詞が並んでいる。文法的にどれも正しいので文意から適切なものを判断すると、(D)rely on「～に頼る」が最も相応しい。
- rely on[upon] A (for B)** 「(Bを)Aに頼る/あてにする」
- He is not a man to rely on.
(彼は頼れる男ではない。)
- keep (on) doing** 「～し続ける」
- settle on[upon] A** 「Aに決める」

trust in A 「Aを信用する」

16. 「バスが完全に止まるまで、席に着いたままでいてください」

- ▶ 空欄のあとはseatedという分詞であるので、()にはSVC[第2文型]の用法をもつ自動詞が入ると推測できる。よって、他動詞である(A)maintainは除外できる。(D)persistには第2文型の用法はなく、(B)continueがC(補語)にとるのは形容詞・前置詞句・名詞なので、正解は(C)remain「～の(状態の)ままである」である。

remain seated 「着席したままでいる」

Remain seated until the aircraft has come to a complete stop.

(飛行機が完全に止まるまで席を立たないでください。)

cf. Please be seated. 「(会議・法廷などで)ご着席ください」

17. 「父兄と教員の会合は予想よりも早く終わった」

- ▶ ()直前のthanはearlierと呼応して関係代名詞の働きをしており、空欄に入る動詞の目的語になっている。選択肢はすべて他動詞の用法をもつので文意から(A)expected「予期した」が最適である。

その他の選択肢は、(B)aim「～を向ける」、(C)hold「～を催す」、(D)appoint「～を指名する」という意味である。

■ 関係代名詞として使われるthan

You did *more work than I had expected.*

(君は私が期待した以上の仕事をした。)

thanは、関係代名詞と同じように、後に続く節の中で主語や目的語の働きをすることがある。この文ではthanがhad expectedの目的語の働きをしている。

18. 「スティーブンは仕事ぶりが優れているので、上司に昇進を約束されている」

- ▶ 受動態の文なので能動態に直して考えると分かりやすい。

→ His boss has (動詞) Steven a promotion. [受動態]
 目的語① 目的語②

空欄に入る語はSVO₁O₂の語法を持つ他動詞である。選択肢の中でこの語法をもつのは、(B)promise A B「A(人)にB(物・事)を約束する」のみであるから、これが正解である。

[例] She promised Jack her help. (= She promised her help to Jack.)

(彼女は手を貸すとジャックに約束した。)

- ▶ (A)request「～を依頼する」、(C)decide on ~「～を決定する」、(D)present A to B = present B with A「AをBに贈呈する」

19. 「ポールの机の上は普段はとても整理整頓されているが、今日は新聞や本やメモで覆われている」

- ▶ 選択肢はすべて他動詞の過去分詞で、it's...以下は受動態の文になっている。空欄直後のwithに着目して文意に合うものを選ぶと(A)coveredが最適である。

- ▶ (B)spread「～を広げる」、(C)place「～を置く」、(D)gather「～を集め」

be covered with ~ 「～で覆われている」

The floor was covered with bits of broken glass.

(床は割れたグラスの破片で覆われていた。)

受動態に由来する慣用表現

be filled with ~ 「～で満たされている」 be known to ~ 「～に知られている」

be involved in ~ 「～に関わっている」 be dressed in ~ 「～を着ている」

be[get] married to ~ 「～と結婚する」 be[remain] seated 「座る[座っている]」

20. 「サリーは予約をキャンセルしたいので、美容院にただちに電話する必要がある」

- ▶ 空欄直後に目的語(her hair appointment)があるので、()には他動詞が入る。選択肢はすべて他動詞の用法をもつので、文意から選ぶと(B)cancel「～を取り消す」が最適である。

- ▶ (A)end「～を終わらせる」、(C)finish「～を仕上げる」、(D)deny「～を否定する」